

第6回 西町防災講座を開催します

9月7日(土) 10時～11時 西町公民館で第6回防災講座を開催します。

今回も防災士村田誠一さんを講師にお迎えし以下のテーマにそって講義していただきます。

- ① 内陸直下型地震と海溝型地震の違い
- ② 避難について
- ③ トイレの話

8月8日(木)に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発令され緊張を強いられました。幸いこの期間中に大地震に見舞われることはなかったとはいえあらためて地震に対する認識と備えについて考えさせられました。防災講座にぜひお出かけください。一緒に考えましょう。

民タイムス 令和6年(2024年)8月10日 土曜日(2)

南海トラフ地震臨時情報

気象庁が8日発表した「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を受けて、どう対応すべきか。防災情報や地域防災が専門で、内閣府中央防災会議「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」の委員を務める松本大学の入江さやか教授に聞いた。(久保田貴大)

内閣府対策検討委員 松本大学教授 入江さやか氏に聞く

巨大地震への備え再確認

「巨大地震注意」とはどのようなものか。南海トラフで大規模地震が発生する可能性が、普段よりも高まっている。これを意味する。ただし、地震を予測する情報ではないため、必ず大規模地震が発生するとは限らない。地震が起きてから大丈夫なように備える「2」を促す情報と考えるべきだ。

南海トラフ地震発生時の想定震度・被害は。県が平成27(2015)年に公表した「第3次地震被害想定調査」の内閣府の調査で、長野県は災害時に孤立する可能性がある。農業集落の備蓄が非常に乏しい。避難方法の確認と、つた日頃の備えを再確認してほしい。平常通りの生活を送って構わないが、土砂災害の恐れのある斜面など危険な場所には近づかないでほしい。

準備をした上で地震が来なかったとしても「空振り」ではなく「素振り」になる。お盆休みで家族が集まる機会に備えを見直してほしい。

南海トラフ巨大地震で想定される各市町村の最大震度(関係分)

6弱	木曽町、上松町、南木曽町、大桑村
5強	松本市、塩尻市、安曇野市、大町市、木祖村、王滝村、山形村、朝日村
5弱	池田町、松川村、麻績村、筑北村、生坂村

2024/08/25 15:29

八月十日付けの市民タイムスに「巨大地震への備え再確認」という見出しで内閣府対策検討委員 松本大学教授 入江さやか先生のインタビュー記事が載っていましたのでご覧ください。「準備をした上で地震が来なかったとしても『空振り』ではなく『素振り』になる」ナイスコメントです。

笑顔いっぱい

西町公民館便り

令和6年

9月号②

町会がひとつになった日

7月27日(土)に西町・堂町合同で子ども会の行事「青山様とぼんぼん」が行われ、その後西町公園でサマ
ーフェスティバルが行われました。

「大勢の方の協力でとても楽しいフェスタができました。町会がひとつになった一日でした。」

このコメントがすべてを表しています。お疲れ様でした。来年またやりましょう。



笑顔いっぱい

西町公民館便り

令和6年

9月号③

背くらべ



茎の太さ

直径3.5cm

2.55m



先月号でお知らせした昨年植えたはるかのひまわりから種がこぼれ落ちて福島大将石碑回りの花壇で発芽し生長したひまわりがこんなに大きくなりました。

草丈が2m55cmにもなりました。福島大将の石碑を追い越すのではないかと思いましたが、わずかに及びませんでした。さすがに遠慮したのでしょう。(背比べは福島大将の勝ちでありました。)

夏の日差しを受けて眩しく輝いています。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

ひまわりも同様のようです。

文責 公民館長 桐原 憲治